

人格の偉大性に関する心理学的研究

— (その7) 特に、中高年者が捉えた人格の「やさしさ」について—

藤田 主一

I. 研究の背景と目的

本研究は、人格研究の中でも特に人格の『偉大性』(greatness)を構成している要因や背景を明らかにすることが目標である。『偉大性』という概念は、通常「偉い人」や「立派な人」などといわれる個人を指すものであるが、この概念に必ずしも明確な定義が存在するわけではない。

ところで、私たちが他者を「偉大な人、立派な人」とであると認識する基準はどこにあるのだろうか。ある人は「艱難辛苦を乗り越えて立派な業績をあげた人」を思い浮かべるだろうし、他の人は「良識のリーダーシップを発揮して国家国民を治めた人」や「弱者を思いやる気持ちがある人」を持ち出すだろう。欧米の研究者たちによる独創的な研究は、「偉人」として取り上げられた人をいくつかの観点から精査分類する試みである。たとえば、素質的な高い能力から稀にみる業績を成し遂げる(知性や業績の傑出)、人間的に素晴らしい特性から人びとに尊敬される(性格や活動の高揚)、非常に立派で世のためになるような仕事を残す(社会的名声や貢献の拡大)などの事実に基づいて、「偉大」な個人を生み出す背景を明らかにしようとしてきた。そこでは、「傑出した人＝偉大な人＝偉大性」という学問的確証は得られていないが、彼らは何らかの偉大な人格を保有していた可能性は否定できない。ここで問題になるのは、私たちが特定の個人を「偉大な人」または「立派な人」と評価する基準をどこに置いているかを追究すること、「偉大な人格」が形成される発達のメカニズムを追究することである。歴史的な偉人や天才の研究も同様に考えていかなければならない。

筆者は『偉大性』を評価する40項目の質問票(表1)を作成し、この質問票を用いて種々の検討を重ねてきた。項目の選定は大学生を対象とした予備調査の結果に基づいている。自由記述により「偉大な人」または「偉い人」を指し示す表現を収集し、得られた記述を類似性の高いカテゴリーでまとめ、仮説的ではあるが『偉大性』の5因子(BASIC)構造を想定した(表2)。この5因子は安定していることが確認されている。

このような経緯を踏まえ、本研究では『偉大性』因子に含まれる「性格や人柄」を特定する項目の1つである人格の『やさしさ』に焦点を当てる。今日、『やさしさ』という概念はいろいろな

分野で使用され「性格や人柄」に限らないようである。たとえば、「地球にやさしい」「環境にやさしい」「身体にやさしい」「人にやさしい」などである。このような表現は、言葉のもつイメージの多様性を示すものであるが、本来の『やさしい』という語の意味内容を辞書から蒐集すると、以下のようなカテゴリーに分類することができる。

(1)親切で、情け深く、思いやりがある。

(例) 親思いのやさしい子。老人にやさしい。

(2)上品で優美である。

(例) この仏像のお顔はたいそうやさしい。やさしい物語。

(3)性質が素直で、おとなしく、穏やかである。

(例) 気立てがやさしい。やさしい声で話しかける。

表1 『偉大性』に関する40項目の質問票(藤田)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 一生懸命に努力する人 | 21. ルールや決まりをきちんと守る人 |
| 2. 発明や発見をした人 | 22. 立派な成績や記録を残した人 |
| 3. 家族のために行動する人 | 23. 社会に役立つことをしている人 |
| 4. 頭のよい人 | 24. 賢い人 |
| 5. 心が広い人 | 25. よく気がつく人 |
| 6. 自分の考えをきちんと言える人 | 26. 何事にもくじけない人 |
| 7. 社会で大きな仕事をした人 | 27. ノーベル賞をもらった人 |
| 8. 自分を犠牲にできる人 | 28. 電車でお年寄りに席をゆずる人 |
| 9. 豊かな知識がある人 | 29. すばらしい才能を持っている人 |
| 10. 性格がやさしい人 | 30. がまん強い人 |
| 11. 何でも最後までやりとおす人 | 31. 何にでもチャレンジする人 |
| 12. 大統領や総理大臣になった人 | 32. 歴史の教科書にのっている人 |
| 13. 社会のためにつくしている人 | 33. ボランティア活動をしている人 |
| 14. 判断力や決断力のすぐれている人 | 34. 頭の回転が早い人 |
| 15. 真面目な性格の人 | 35. 誰からも好かれる人 |
| 16. 自分の夢を実現しようと頑張る人 | 36. 物事に真剣に取り組んでいる人 |
| 17. 世界的に有名な人 | 37. 著書をたくさん出版した人 |
| 18. 困っている人を進んで助ける人 | 38. 世界平和のために貢献している人 |
| 19. 社会の出来事をよく知っている人 | 39. すぐれた技術を持っている人 |
| 20. 責任感の強い人 | 40. 思いやりのある人 |

表2 『偉大性』の5因子構造仮説(藤田)

- | |
|---|
| (1) 行動の基準と努力……………『達成行動の強さ』因子…………Behavior |
| (2) 仕事や業績……………『知名度と高業績』因子…………Achievement |
| (3) 社会や家族への貢献…………『社会活動の貢献』因子…………Social contribution |
| (4) 知的能力の高さ……………『知的能力の高さ』因子…………Intelligence |
| (5) 性格や人柄……………『性格や良い人柄』因子…………Character |

辞書的な解釈では『やさしさ』は3因子で説明が可能であり、それは「思いやり」「優美」「おだやか」がキーワードである。現代の若者は『やさしい』という言葉に魅力を持つ。「だってやさしい人だから」「ちっともやさしくないのだから」などの言い方をする。すでに、訥摩武俊は「……やさしい人といわれる人が備えている特徴の第一は、思いやりがあるということである。相手の立場に立って考え、相手の気持ちを敏感に受け止め、特に傷ついた心をよく理解できる人である。また物ごとによく気がつき、いきとどいた気配りをするが、しかしそれを決して誇張したりせず、さりげなくやる人である。……やさしい人の第二の特徴としては、親切で思いやりがあるということである。これは相手の心にいま、何が生じているかを汲みとる能力であるといってよい。……やさしい人の第三は、温厚で寛容であるという特徴である。めったなことで怒ったり大声でどなったりしない人、心が広くおだやかで安定感のある人……」と述べている。さらに、やさしい人の全体的なイメージは「常に笑顔をたやさないで、ゆったりとした態度や行動をする人」が連想される。伊藤忠弘は大学生を対象にした研究において、『やさしさ』を「思いやり」「誠実さ」の2因子で説明している。

このように、『やさしさ』の捉え方にも多様な観点がありそうである。そこで、本研究では『偉大性』(BASIC)の「C」因子に含まれる『やさしさ』項目を取り上げ、その意味するところを明らかにしたいと考える。たとえば「やさしい男性/女性」という場合、実際にどのような人物を描いているかは曖昧である。ここでは中高年者に調査を行い、やさしさの概念を分類し、類型化・構造化への探索研究としたい。

II. 研究の方法

1. 調査対象者

本研究の調査対象者は、埼玉県内に在住する中高年者162名である。中高年者の内、男性は78名(平均年齢66.3歳, 50~79歳)、女性は84名(平均年齢61.7歳, 51~74歳)であった。

2. 調査材料

調査材料は、中高年者が捉えた『やさしい男性』『やさしい女性』『やさしくない男性』『やさし

くない女性』の実像を把握するために、自由記述による方法を採用した。調査対象者の属性（年齢、性別）を求めたフェイスシート（匿名）に続き、『やさしい人』について自由に記述できる空欄を設けたB4判横組み用紙を準備した。空欄はTST（Twenty Statement Test）方式に準じて6記述できるものであり、『やさしい男性／女性』『やさしくない男性／女性』の4カテゴリーの組み合わせで、4種類×6記述の計24個である。

3. 手続き

- (1)自由記述の回答方法に対して、「あなたは『やさしい男性／女性』とは、どういう人を言うのだと思いますか？ 男性／女性のやさしさ（性格、行動、考え方など）を具体的に書いてください。あなたは『やさしくない男性／女性』とは、どういう人を言うのだと思いますか？ 『やさしくない男性／女性』（性格、行動、考え方など）を具体的に書いてください」という教示を与えた。
- (2)自由記述できる空欄はそれぞれ6個ずつあるが、記述量および記述個数は自由である。
- (3)記述後、「今書いた文章の中で、あなたが一番に主張したい『やさしい男性／女性、やさしくない男性／女性』を1つずつ選んで○印をつけてください」という教示を続けた。記述数の多い人はその中から選択させ、記述数の少ない人（例：1個）はそれを選択するように指示した。
- (4)調査は、2ヵ所の中高齢者対象の講演会会場で、担当者が集団で実施した。

Ⅲ. 結果と考察

1. 記述内容の検討

記述内容をまとめるに当たり、類似の回答を1分類としてカテゴリーを設定した。今回のデータ分析はいくぶん仮説的であるため類似性については確定したものではないが、従来の研究と今回の中高齢者が捉えた『やさしい男性／女性』『やさしくない男性／女性』とも同様のカテゴリーに分かれる可能性が示唆された。以下はそれをまとめたものである。

『やさしい男性／女性』（10種類のカテゴリー）

- ①気づかう人、②エスコートする人、③思いやりのある人、④相談にのる人、⑤理解する人、⑥らしさを発揮する人、⑦道徳的な人、⑧穏やかな人、⑨援助する人、⑩その他

『やさしくない男性／女性』（9種類のカテゴリー）

- ①自己心的な人、②攻撃的な人、③自分勝手な人、④気づかわない人、⑤自己主張する人、⑥冷たい人、⑦態度が変わる人、⑧交流しない人、⑨その他

調査対象の中高年齢者から得られたデータの中から、今回は『やさしい男性』『やさしい女性』に焦点を当てて検討する。

中高年齢男性78名が記述した総個数は、『やさしい男性』253個（平均3.3個）、『やさしい女性』194個（平均2.5個）であった。一方、中高年齢女性84名が記述した総個数は、『やさしい男性』252個（平均3.0個）、『やさしい女性』184個（平均2.2個）であった。全体的に男性に対する記述が多いのは、調査用紙が男性への記述を先に求めた結果かもしれない。

2. 中高年齢者が捉えた『やさしい男性』の分析

中高年齢者が捉えた『やさしい男性』について、その記述内容を精査して類似性の高い10種類のカテゴリーによる分類を試みた。

表3は中高年齢の男性／女性が捉えた『やさしい男性』の結果をまとめたものである。中高年齢男性から見た『やさしい男性』と、中高年齢女性から見た『やさしい男性』との間の出現順位（出現頻度）に差異が認められる。具体的な記述を列記すると、以下のような回答例がみられた。

- ・ 相手を思いやる人（59歳8ヶ月、男性）
- ・ 弱者に対していたわりの気持ちを持っている人（68歳3ヶ月、男性）
- ・ 家庭的で自分の行動に対して責任を持つ人（71歳10ヶ月、男性）
- ・ 相手の欲する方向に対応すべく努力する人（63歳9ヶ月、男性）
- ・ 人の悪口を言わない人（77歳3ヶ月、男性）
- ・ 明るいおおらかな気持ちを持っている人（59歳1ヶ月、男性）
- ・ 正義感が強い人（70歳1ヶ月、男性）
- ・ 女性を大切にすること（56歳10ヶ月、男性）
- ・ 何事にも動じずじっくり考え判断した上で話す人（64歳1ヶ月、男性）
- ・ 人間関係を大切にすること（63歳3ヶ月、男性）
- ・ 男性としての役割を果たす人（54歳6ヶ月、女性）
- ・ 話を聞いてくれる人（59歳11ヶ月、女性）
- ・ 言葉にしなくても行動してくれる人（62歳5ヶ月、女性）
- ・ 金銭に細かい人（64歳9ヶ月、女性）
- ・ 礼儀をわきまえている人（71歳0ヶ月、女性）
- ・ 日常生活のなかでも自分の行動や言葉に責任を持っている人（65歳10ヶ月、女性）
- ・ うれしさや悲しさのよくわかる人（63歳8ヶ月、女性）
- ・ 心が広く思いやりのある人（72歳8ヶ月、女性）
- ・ 親兄弟を大切にすること（63歳5ヶ月、女性）
- ・ 包容力があり大きな気持ちを持って小さなことにこだわらない人（59歳5ヶ月、女性）

中高年男性が捉えた『やさしい男性』に対する出現順位は、上記の分類に従うと第一に「⑧穏やかな人」(21.7%)が最も高い。「穏やかな人」とは、たとえば「話し方や接し方」が穏やかで「包容力」と「豊かな心」があり、「性格」も温和で「安心感」を感じられる人である。第二は「③思いやりのある人」(16.2%)である。「思いやり」という表現には、「やさしさ」をすべて包含した印象がある。「相手を思いやる」気持ちは普通に使用する頻度が高く、「やさしさ=思いやり」という関係を示すものである。第三は「⑥らしさを発揮する人」(12.7%)である。「らしさ」とは、いわゆる「男らしい/女らしい」行動や態度のことである。「男らしさの発揮」は、「決断力」や「責任感の強さ」への期待とも受け止められる。

表3 中高年者が捉えた「やさしい男性」の分類(頻度, %)

カテゴリー	男性	女性	全体	性差
穏やかな人	55 (21.7)	39 (15.5)	94 (18.6)	
思いやりのある人	41 (16.2)	39 (15.5)	80 (15.9)	
らしさを発揮する人	32 (12.7)	36 (14.3)	68 (13.5)	
理解する人	19 (7.5)	29 (11.5)	48 (9.5)	
相談にのる人	24 (9.5)	24 (9.5)	48 (9.5)	
道徳的な人	30 (11.9)	10 (4.0)	40 (7.9)	**
援助する人	15 (5.9)	23 (9.1)	38 (7.5)	
エスコートする人	12 (4.7)	25 (9.9)	37 (7.3)	*
気づかう人	14 (5.5)	19 (7.5)	33 (6.5)	
その他	11 (4.4)	8 (3.2)	19 (3.8)	

* $p < .05$, ** $p < .01$

中高年女性が捉えた『やさしい男性』に対する出現順位は、上記の分類に従うと第一に「⑧穏やかな人」「③思いやりのある人」が同率で最も高く、それぞれ15.5%である。その次は「⑥らしさを発揮する人」(14.3%)である。

中高年男性および女性の全体をまとめると、「⑧穏やかな人」(18.6%)、「③思いやりのある人」(15.9%)、「⑥らしさを発揮する人」(13.5%)、「⑤理解する人」(9.5%)などの順で男性の『やさしさ』を系統立てているが、男性と女性とが各カテゴリーを同様の水準で捉えているか否かは不明である。性差について検討した結果、表3に見られるとおり2カテゴリーに有意差が認められた。「⑦道徳的な人」は1%未満の水準(CR=3.29)で男性に強く求められた。男性自身が『やさしい男性』を主張する場合、女性以上に高い道徳性を主張しなければならないようである。一方、「②エスコートする人」は5%未満の水準(CR=2.26)で女性に強く求められた。「エスコートする人」とは、「〇〇してくれる人」ということである。これは、おそらく男性(相手)が女性(自分)に対してとる行動という意味と解釈できる。女性の立場を尊重することを男性に期待する姿とも受け止められる。

3. 中高年者が捉えた『やさしい女性』の分析

中高年者が捉えた『やさしい女性』について、『やさしい男性』の記述内容と同様に類似性の高い10種類のカテゴリーによる分類を試みた。

表4は中高年の男性／女性が捉えた『やさしい女性』の結果をまとめたものである。中高年男性から見た『やさしい女性』と、中高年女性から見た『やさしい女性』との間の出現順位（出現頻度）に差異が認められる。具体的な記述を列記すると、以下のような回答例がみられた。

- ・言葉や行動に女らしいやさしさがある人（62歳6ヶ月，男性）
- ・言葉づかいがやわらかい人（78歳0ヶ月，男性）
- ・いつもニコニコしていて明るくふるまえる人（63歳2ヶ月，男性）
- ・相手の立場に立って物事を判断する人（52歳10ヶ月，男性）
- ・話をしても思いやりが感じられる人（66歳0ヶ月，男性）
- ・子どもが好きな人（64歳7ヶ月，男性）
- ・細やかなことによく気づいて実践する人（59歳8ヶ月，男性）
- ・相手を慈しむことができる人（69歳2ヶ月，男性）
- ・奥ゆかしい心を持っている人（70歳1ヶ月，男性）
- ・男女共生の社会でお互いに理解し合い協力的な行動をとる人（73歳3ヶ月，男性）
- ・言葉遣いに気をつける人（59歳3ヶ月，女性）
- ・若い人ともすぐなじめさわやかな雰囲気にしてくれる人（54歳3ヶ月，女性）
- ・悩みをじっくり聞いてくれる人（61歳6ヶ月，女性）
- ・家族を言い訳の対象にしない人（74歳2ヶ月，女性）
- ・いざという時黙って他人を守ってあげられる人（60歳6ヶ月，女性）
- ・相手の気持ちを察してさりげなく行動がともなえる人（64歳9ヶ月，女性）
- ・意地悪な行動をとらない人（63歳5ヶ月，女性）
- ・おせっかいでなく必要に応じて助言手助けができる人（51歳3ヶ月，女性）
- ・思いやりがあって知ったかぶりをしない人（69歳5ヶ月，女性）
- ・自分と同じように相手をも愛する人（71歳10ヶ月，女性）

中高年男性が捉えた『やさしい女性』に対する出現順位は、上記の分類に従うと第一に「⑧穏やかな人」(19.6%)が最も高い。第二は「③思いやりのある人」(15.5%)であり、第三は「⑤理解する人」(14.9%)と「⑥らしさを発揮する人」(14.9%)である。

同様に、中高年女性が捉えた『やさしい女性』に対する出現順位は、上記の分類に従うと第一に「⑧穏やかな人」(20.1%)が最も高く、「⑤理解する人」(13.6%)、「③思いやりのある人」(12.5%)が続いている。

表4 中高年者が捉えた「やさしい女性」の分類（頻度，％）

カテゴリー	男性	女性	全体	性差
穏やかな人	38 (19.6)	37 (20.1)	75 (19.8)	
理解する人	29 (14.9)	25 (13.6)	54 (14.3)	
思いやりのある人	30 (15.5)	23 (12.5)	53 (14.0)	
らしさを発揮する人	29 (14.9)	18 (9.8)	47 (12.4)	
道徳的な人	22 (11.3)	19 (10.3)	41 (10.9)	
気づかう人	12 (6.2)	16 (8.7)	28 (7.4)	
援助する人	11 (5.7)	14 (7.6)	25 (6.6)	
相談にのる人	10 (5.2)	11 (6.0)	21 (5.6)	
エスコートする人	4 (2.1)	9 (4.9)	13 (3.4)	
その他	9 (4.6)	12 (6.5)	21 (5.6)	

中高年男性および女性の全体をまとめると、「⑧穏やかな人」(19.8%)、「⑤理解する人」(14.3%)、「③思いやりのある人」(14.0%)、「⑥らしさを発揮する人」(12.4%)、「⑦道徳的な人」(10.9%)などの順で女性の『やさしさ』を系統立てているが、ここでも男性と女性とが各カテゴリーを同様の水準で捉えているか否かは不明である。性差について検討した結果、いずれのカテゴリーにおいても有意差が認められなかった。この結果から、『やさしい人』を想定するとき、それが男性を対象にする場合と女性を対象にする場合とで同じ人間観にならないことが明らかになった。男女共生といっても、中高年者は従来の性役割を具現化しているようにも受け取ることができる。

IV. 結論

以上の諸結果から、中高年者を対象に『やさしい人』を想定する要因を自由記述の方法によって求めると、全般的に次のような結論を提出することができるであろう。

- (1) 中高年者が捉える『やさしい男性』像は、第一に「穏やかな人」である。たとえば、「決断力がある、心が豊かで広い視野を持ち、性格が穏やかで包容力がある」などというイメージである。他方、中高年者が捉える『やさしい女性』像も「穏やかな人」であるが、「心にゆとりがあり、笑みが絶えず、言葉がやさしく、気持ちが明るい」などというイメージであり、同じ『やさしさ』に対しても求めるものに違いが認められそうである。
- (2) 次に「思いやりのある人」が多く出現する。他のカテゴリーは複数の記述が混在するが、「思いやり」は単独で出現したものである。他に付随する細かな説明はほとんど存在しない。したがって、包含される「思いやり」はもっと多数になるかもしれない。『やさしさ＝思いやり』と結論づけてはいけないが、その可能性も否定できない。
- (3) 「男らしさの発揮／女らしさの発揮」を強調する記述、たとえば「男らしい積極性、女らしい柔和さ」も多い。大学生男女に対する同様の調査では、「援助する人」「気づかう人」など、行動と直結するカテゴリーにも記述が頻出したが、中高年者の捉え方では人格そのものに温厚

さを求めているようである。

(4)表3に示したとおり、2つのカテゴリー「道徳的な人」「エスコートする人」の間で性差が認められた。中高年の男性は『やさしさ』に「道徳的」な行動を求め、女性は「○○してくれる人」に男性の『やさしさ』を求めているようである。

【参考文献】

- (1) 高嶋正士：『偉人・天才の心理学』，1997，医学出版社。
- (2) 藤田主一：「人格の偉大性に関する心理学的研究 ——（その5）特に、人格の「やさしさ」を規定する要因について——」，2003，城西大学女子短期大学部紀要第20巻第1号，9-18。
- (3) 藤田主一：「人格の偉大性に関する心理学的研究 ——（その6）特に、「やさしい男性」の類型化と性差について——」，2004，城西大学女子短期大学部紀要第21巻第1号，30-40。
- (4) 詫摩武俊：「『やさしさ』について——その心理学的考察——」，1983，『青年心理』第40号，6-15，金子書房。
- (5) 伊藤忠弘：「『やさしさ』についての探索的研究」，2000，日本心理学会第64回大会発表論文集，203，京都大学。